

KONDO Katsunori

近藤 克則 コンドウ カツノリ

教授

博士 (医学：千葉大学)
博士 (社会福祉学：日本福祉大学)

<http://mihama-w3.n-fukushi.ac.jp/ins/kkondo/index.html>

千葉大学医学部卒業(1983), 東京大学医学部附属病院リハビリテーション部医員(1985), 船橋二和病院
リハビリテーション科科长(1992~1997), 日本福祉大学赴任(1997), University of Kent at Canterbury
客員研究員(2000~2001), 日本福祉大学保健福祉学科長(2005~2006), 大学院社会福祉学研究科長(2007~
2008), 大学院医療・福祉マネジメント研究科長(2009~), 健康社会研究センター長(2009~).

【研究分野】

リハビリテーション医学, 社会疫学, 医療経済・政策学.

【キーワード】

長寿科学 (老年学), リハビリテーション医学, 健康格差,
医療・福祉政策, 政策評価.

【担当授業科目】

学 部：リハビリテーション医学, 保健福祉学専門演
習 I.

通学大学院：保健・医療・福祉サービス論, 福祉サービ
スマネジメント演習 I・II.

通信教育部：健康格差社会, リハビリテーション医学, 医
療・福祉サービス論.

通信大学院：高齢者福祉論特講.

【主な研究テーマ】

1. 社会疫学と健康格差研究

介護予防を志向して, J-AGES(日本老年学的評価研究)プロ
ジェクトのデータを用いて社会疫学と健康格差の研究をし
ている. 個人レベルの社会経済的因子にとどまらずソーシ
ャルキャピタルなど地域レベルの因子にも着目している.

2. 保健・医療・福祉の経済・政策学

超高齢社会に備え, 医療・福祉分野の政策評価を中心とす
る政策科学研究にとりこんでいる. イギリスの医療政策や
ケアの質評価もテーマとしている.

3. 脳卒中リハビリテーションとケアマネジメントの研究

リハビリテーション患者データベースの開発や終末期ケア
におけるケアマネジメントのあり方を研究している.

【主な研究業績】

<著書>

- 『Health Inequalities in Japan: An Empirical Study of the Older People』, 編著, Trans Pacific Press (Melbourne), 2010. 11.
- 『「健康格差社会」を生き抜く』, 単著, 朝日新聞社, 2010. 01.
- 『高齢者の終末期ケアの質を高める4条件とケアマネジメント・ツール』共編著, 中央法規出版, 2010. 04.
- 『検証「健康格差社会」—介護予防に向けた社会疫学的大規模調査』, 編著, 医学書院, 2007. 03.
- 『医療・福祉マネジメント—福祉社会開発に向けて』 単著, ミネルヴァ書房, 2007. 03.
- 『脳卒中リハビリテーション—早期リハビリテーションからケアマネジメントまで 第2版』共編著, 医歯薬出版, 2006. 04.
- 『健康格差社会—何が心と健康を蝕むのか』 単著, 医学書院, 2005. 09.
- 『「医療費抑制の時代」を超えて—イギリスの医療・福祉政策』, 単著, 医学書院, 2004. 05.

<論文>

- 「冠動脈疾患と社会経済的要因—メカニズムと予防の視点から—」, 『行動医学研究』17巻1号, 共著, 2011. 04, pp. 1-7.

- “Cohort Profile: The AGES 2003 Cohort Study in Aichi, Japan.”, *Journal of Epidemiology* Vol. 21 No. 2, 共著, 2011. 02, pp. 151-157.
- 「幸福・健康の社会的決定要因—社会疫学の視点から」, 『科学』80巻3号, 単著, 岩波書店, 2010. 03, pp. 290-294.
- 「地域在住高齢者の要介護認定のリスク要因の検討—AGESプロジェクト3年間の追跡研究」, 『日本公衆衛生雑誌』568, 共著, 医学書院, 2008. 08, pp. 501-512.
- “Social relationship and health”, *Health and Social Disparity—Japan and Beyond*, 単著, Trans Pacific Press, 2009, pp. 182-207.
- 「在宅エンド・オブ・ライフケアの課題—全国調査とイギリスの取り組みを踏まえて—」, 『ホスピスケアと在宅ケア』第16巻3号, 単著, 日本ホスピス・在宅ケア研究会, 2008. 12, pp. 244-256.
- 「リハビリテーションにおける帰結研究—脳卒中を中心に大規模データベースとデータバンク」, 『総合リハビリテーション』第36巻1号, 共著, 医学書院, 2008. 01, pp. 23-27.

<学会発表>

- <国際シンポジウム>セッション3「地域医療の将来：医療の質, 格差, そして人材」, (財)日本国際交流センター・ランセット共催, 2010. 09.
- 健康格差 AGESプロジェクトに見る現状と生成プロセス, そして対策の糸口, 第68回日本公衆衛生学会総会メインシンポジウム「健康をまもる社会基盤を再構築—その糸口はどこか—」, 2009. 10.
- 健康格差社会とソーシャル・インクルージョン. 学会企画シンポジウム「社会的排除の実現とソーシャル・インクルージョンの課題」, 日本社会福祉学会第56回全国大会, 日本学術会議共催, 2008. 10.

【所属学会】

日本リハビリテーション医学会(1984~, 専門医1991~, 臨床認定医1992~, 評議員2004~), 身体障害者福祉法指定医(1988~), 日本老年医学会(1990~), 日本公衆衛生学会(1996~), 日本老年社会科学会(1996~), 日本社会福祉学会(1997~), 日本医療・病院管理学会(1997~, 評議員2005~), 社会政策学会(1999~).

【社会における活動と仕事】

社会福祉士試験委員(2007~2009), 精神保健福祉士試験委員(2007~2009), 韓国保健福祉家族部 老人長期療養保健諮問委員(2008~), ELSEVIER Social Science & Medicine, Advisory Editor (2009~), 厚生労働省 高齢者医療制度改革会議 委員(2009~2010), 日本医療・病院管理学会 評議員(2010~2011), 日本社会福祉学会 代議員(2010~), リハビリテーション医学会 評議員.

【受賞学術賞】

- 社会政策学会奨励賞(「健康格差社会」—何が心と健康を蝕むのか, 2005), 2006. 06.
- 川井記念賞 (地域レベルのソーシャル・キャピタル指標に関する研究, 共著, 厚生労働省の指標56 (1), 2009, 2010. 11.